

# 研究成果が社会に実装されるために

開催日時 10/20 (木) 13:30~15:40  
開催形式 ZoomによるWebinar  
参加費 無料

複雑化・多様化する世界において、社会実装される価値ある技術を生み出すためには産・学・官それぞれが組織の垣根を越えて活動することが求められる。本企画では組織の垣根を超えて技術の社会実装に取り組んできた方々や、社会実装を支援されてきた方々をお招きしてご講演頂き、組織の垣根を越えて社会実装される技術を創出するためのヒントを得るとともに、スマート無線研究会がこれまで以上に社会実装される技術を創出する場となることを狙いとす。

本講演会では産業界・学術界・公的研究機関と組織の垣根を越えてICT技術の研究開発や社会実装に取り組まれている登大遊氏、金沢工業大学にて事務局として産学連携の支援に取り組まれている埴田翔氏をお招きし、技術が社会に実装される際に生じる課題等に関し、実例を交えて講演頂く。



IPA サイバー技術研究室長, NTT 東日本 特殊局員  
**登大遊氏**

**“世界に普及可能な日本発のサイバー技術の生産手段の確立”**

発表者は、2003年にIPAの未踏事業でSoftEther VPNを開発し、会社を経営している。また、最近ではIPAやNTT東日本に入社して遊んでいる。ICT基盤を支える最近のサイバー技術の多くは、海外で作られたものが多いが、日本においても、日本型の大企業や政府系組織等にある人材、資源、設備、規模を活用して、サイバー技術の生産手段を確立できれば、AWSやWindows、Googleのように、全世界的に普及する基盤的サービスや技術が多数出てくることは、間違いないと考える。

そのためには、日本の色々な組織におけるICT人材における、(1)コンピュータと通信を併せた多レイヤに渡る技術の探求、(2)これまで日本で作られてきた豊富な通信路や建物を活用した技術開発と組織間組織連携、(3)Microsoft、Google、Appleの創業やAT&TにおけるUNIXの発明等を参考にしたコンピュータ・インチキあそびの復活、が有効である。



金沢工業大学 産学連携局研究支援推進部  
**埴田翔氏**

**“産学官連携による社会実装に向けた取組について”**  
～産学連携に関わる職員の目線から～

金沢工業大学では「雄大な産学協同」を建学の理念の一つとして掲げており、わが国の産業界が求めるテーマを積極的に追究し、広く開かれた学園として社会に貢献を目指し、積極的な産学官連携活動を実施している。2018年には白山麓キャンパスを開設し、地方創生研究所/Innovation Hubを設置し、社会実装型研究を推進している。

本講演では、金沢工業大学における社会実装型研究および社会実装に係る種々の取り組みを紹介するとともに、産学連携に関わる職員としての支援の取組や課題等について紹介する。

お申込みはこちらのURLより

<https://forms.gle/Y4fyNtYs2AJJt7ux5>



申込〆切 10/18 (火) 17:00

開催日前になりましたら登録メールアドレス宛にWebinarのURLを送付いたします。